

特定非営利活動法人

Newsletter

介護の社会化を進める

MIYAGI

一万人市民委員会宮城県民の会

第148号

【令和6年1月1日】

※※※※※ 発行人 ※※※※※
特定非営利活動法人
介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
代表理事 佐藤 年夫



あけまして
おめでとう
ございます

令和甲辰歳元日



超高齢社会の新たな課題を考える

～ 一人暮らし高齢者の身元保証等について ～

代表理事 佐藤 年夫

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

さて、コロナ感染症も5類に移行し、その対策等は個人の判断に委ねることになりました。しかし、コロナウイルスがなくなったわけではありませんので、調査活動等においては引き続き対策を講じて実施して頂いているところです。

今年度の調査活動は、コロナの感染防止対策が緩和されたことによって書類郵送調査やリモート調査がなくなり、訪問調査が主流となりました。

さて、昨年NHKテレビで「一人暮らしの高齢者が増加する中、身元保証人等がいなくて、病院への入院や介護施設等への入所ができず、困っている」という例が報じられていました。それによりますと、一人暮らしの高齢者は全国で約737万人(2019年)おり、その数は年々増加傾向にあることから入院や施設入所の際に、身元保証人が立てられない高齢者も増加することが見込まれています。こうしたことから、総務省が病院や施設における身元保証の実態や、身寄りのない高齢者に対する取組状況等のアンケート調査を実施したとのことです。

厚生労働省は、身元保証人がいないことだけで入院・入所を拒否することのないよう関係各所に通知を發出し、身寄りのない人の入院支援等のためのガイドラインを作成しています。しかし、実際には①病院・施設の9割以上が入院・入所の際に身元保証人を求めており、②身元保証人がいなくても入院・入所させているのは僅か 3.5%にすぎず、あとは「入院・入所を断っているが 15.1%」「必要な場面毎に個別に対応するが 60%」「身元保証人の代わりに成年後見人制度や身元保証会社の利用を求めるが 15.6%」などとなっています。

総務省ではこれらの調査結果をまとめ、関係行政機関や病院・介護施設等に通知し、改善を推進することになっています。

私達は、いつ一人暮らしになるか分かりませんし、身元保証人等がいなくなる事態になるかも知れません。本件のような課題が早急に解決され、誰もが安心して暮らせる社会になるよう願ってやみません。

最後になりますが、今年一年も皆様にとって良い年でありますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。

新調査員を迎えて〜〜

今年度、新調査員として、活動を始めたお二人に「会員になったきっかけ」…「新年の抱負(今年の目標)」などについて、コメントを寄せていただきました。

〜〜活動の更なる充実に



対話を通じて「気づきを促す」

〜〜 大崎 勝彦 氏 〜

① 会員になったきっかけ

知人の紹介もあり、これまでの介護経験を活かせる場と思います。

また、他施設でどのようにケアサービスの質の向上に努めているのか、関心があった事から調査員となりました。

② 調査に行き行って感じたこと

各施設それぞれの理念を掲げ、それを実践に活かし利用者・家族が安心して使えるサービスの質の確保・向上を図って介護に当たっていると感じました。

③ 趣味・特技

釣り・ゴルフ

④ 新年の抱負(今年の目標)

グループホームの職員との対話を通じて「気づきを促す」こと。



身体作りをしつつ旅に出かける

〜〜 加藤 仁 氏 〜

① 会員になったきっかけ

入会する直前までNPOいきいきネットみやぎで活動しており、その中で先輩が一人市民委員会のメンバーで入会のお誘いを戴きました。

② 訪問調査をして感じた事

・見送った父を介護していた時代から「変わっていることが多いのか？自分が知らなかったのか？そして今度は自分が利用するのはいつなのか？」

それがどんな介護サービスなのだろうと考えてしまいます。

とにかく職員の方々が忙しい中でも入居者に優しく接して業務をこなしていらっしゃる姿に頭の下がる思いがあります。

③ 趣味・特技

・仮名書道の講師をしており、和裁や茶道を習っているので着物を着る機会が多くあり、落語や歌舞伎を見に出かけます。料理や蕎麦打ちも我流で楽しんでいます。一人旅も好きで国内外にちよくちよく出かけます。

④ 新年の抱負

・とにかく一日も早く一人市民委員会の仕事をマスターするのが第一ですが最近さぼり気味なジムに通い、しっかり身体作りをしつつ一人旅に出かけたいです。

『介護サービス情報の公表調査』

10月30日より開始した今年度の介護サービス情報の公表調査開始に先立ち、去る10月4日に仙台市生涯学習センターにおいて、宮城県福祉部、仙台市保険高齢部、公表センター、認証制度事務局のご出席を賜り、一万人市民委員会調査員48名が参加してフォローアップ研修会を開催しました。

冒頭、宮城県と仙台市よりコロナ感染症期間における情報の公表調査で、リモート調査や全書類郵送書面調査、訪問調査活動を遂行した調査員に対して、労いと感謝の言葉を頂き、調査員一同で調査の重要性を再確認したところです。

引き続き事務局より

- ①今年度調査員養成受講者2名の紹介
- ②今年度の調査計画、調査方針
- ③訪問調査の留意点及び緊急時対応調査員マニュアル

等について、細部の説明がありました。

団塊の世代が後期高齢者となる2025年(令和7年)には、介護人材不足が社会問題となっている中で、情報の公表調査員も団塊の世代を中心とした組織であることから、高齢を理由に調査活動を自粛する人や運転免許証を返納した人も見受けられる等、調査活動に支障をきたす問題も発生しているところですが、各調査員同士が互いに「不足」を補い合って、今年度の情報の公表調査活動を無事に終えることを祈念して研修会を閉会しました。

＜第4回理事会模様＞

11月17日(金)仙台市生涯学習支援センター第一セミナー室Aに於いて開催されました。議題は下記のとおりです。(10/16出席)

- ・各事業項目進捗状況報告並びに審議
 - ① 介護サービス情報の公表調査活動部門
 - ② みやぎ介護人材認証制度(第2段階)確認調査部門
 - ③ 地域密着型サービス外部評価活動部門
 - ④ 福祉サービス第三者評価活動部門
 - ⑤ なんでも相談、広報部門
 - ⑥ 会員支え合い活動部門、事務部門
- <詳細は事務所のファイルで閲覧下さい。>

◆◇なんでも相談会のご案内◇◆

法律、成年後見関係の分野に限らず、会員やその家族、知人の方がお持ちの生活全般に関わる「困りごと」「悩みごと」等なんでも相談会です。

令和6年1月から令和6年4月までの開催日程は下記のとおりです。

☆開催日程

- ✿ 1月23日(火) 相談役 安田 廣治 司法書士
- ✿ 2月21日(水) 相談役 武田 貴志 弁護士
- ✿ 3月26日(火) 相談役 安田 廣治 司法書士
- ✿ 4月16日(火) 相談役 武田 貴志 弁護士



現在、老化現象進行中。。。

会員 金野 清

“畳の縁に躓く,” “鍵の置き場所を何時も探す,” “外出後ドアの施錠は?,” “テレビのSWは?,” “炬燵の電源は?,” 等々不安感に居た堪れなくなる。

時には途中下車して自宅に戻り再確認する等、枚挙にいとまがない事例が近年多発してきた。他方、永年の勤続疲労が祟り5指に余る病名を持ち、更に所謂「坐骨神経痛」に代表される治療をしても結果の出ない病も幾つか...

加えて物忘れも酷く、人名に至ってはお手上げ状態で脳の衰えを感じる。老化の真っ只中！

老化(生体機能の低下)は20~30歳頃から始まり、脳の衰えも50歳過ぎ頃から始まると言われている。老化は病気でないため止める事も予防する事も出来ない生物の宿命であり、不老長寿は研究者の永遠のテーマとなっている？

私は、これまで意識すること無く馬齢を重ねてきたが、此処に至って心身の不調から否応なしに「年だなあ」と痛感せざるを得なくなった。意識し始めると家族等の指摘も重なり、フットワークも鈍くなる。

止められない老化に抗い、現在は地域活動(コミセン勤務、町内会、老人クラブ)やNPO活動(一万人)、そしてゴルフに麻雀等と日々多忙に過ごし、心身を活発化させることで多少でも「健康寿命」に資するかな?と老体に鞭を打ち動き回っていますが、以前より行動力が落ち、そろそろ本当の老境に入りつつあるのかなと日々不安。人生百年と言われて久しいが、ベッド上での百年なんて考えたくもない。

鮭やチンパンジーには老化はないと聞いたことがある。ピンピンコロリの典型?願わくは自分もかくありたい!

さらば老化よ!!

【〜〜編集後記〜〜】

自分の人生は?と問われると、40代までは「(信長の)人生50年」、50代には「還暦まで」、60代になって「親父の73歳まで」と言い放っていた。

そんな自分も今年で満77歳の喜寿を迎える。

昨年3月、70年来の“ダチ”が倒れ、急逝した。突然の報に、信じ切れない虚しさや空白が生まれ、少しずつは小さくはなっているものの未だにそれは消えない。それは、生

きている限りは埋まることのない「もの」であると思うことから、先立った妻や父母、共に働いた先輩や同僚、そして各震災や東欧の戦争被災者等に手を合わせる度に『奴』にも一緒に語りかけている。

陰で自分の評判は悪くても、今は自分に率直に生きよう! 取り敢えず、『傘寿まで』!? (曾根)



特定非営利活動法人
介護の社会化を進める
一万人市民委員会宮城県民の会

編集委員 遠藤 千代 兼平 幸雄 工藤 俊廣
曾根 務 出口 香